

SCORING SYSTEM

Patentnummer: JP3260722
Publikationsdatum: 1991-11-20
Uppfinnare: KATSURAJIMA NAOTO; others: 01
Sökande: NEC CORP
Sökt patent: JP3260722
Ansökningsnummer: JP19900059169 19900309
Prioritetsnummer:
IPC Klassifikation: G06F7/24
EC klassifikation:
Ekvivalenter:

Utdrag

PURPOSE: To shorten the processing time for a sorting system by providing a data shift means which rearranges simultaneously the data to be paired with each other every time a single type of data is sorted.

CONSTITUTION: When the data A is sorted, the 2nd data is compared with the n-th data. Then the position of the data A is replaced if the n-th data is larger than the 2nd one. In this case, the data B and the data X which are paired with the data A are also replaced at one time like the data A. Based on the sorted final result, both data B and X paired with the data A are also shifted like the movement of the data A. Thus it is possible to guarantee the accuracy showing that the data are paired and the processing time is shortened as long as plural paired data are treated without separating them from each other.

Data från esp@cenet testdatabas - I2

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪特許出願公開

⑫公開特許公報 (A) 平3-260722

⑬Int. Cl.⁵

G 06 F 7/24

識別記号

庁内整理番号

2116-5B

⑭公開 平成3年(1991)11月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮発明の名称 ソート方式

⑯特 願 平2-59169

⑰出 願 平2(1990)3月9日

⑱発明者 桂島直人 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲発明者 竹村政仁 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑳出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

㉑代理人 弁理士 内原晋

明細書

発明の名称

ソート方式

特許請求の範囲

複数が対になっているデータの中でソートを行いたい1種類のデータをソートの対象にしてソートするソート手段と、このソート手段が前記1種類のデータについてソートすることに対となるデータも同時に並べ替えるデータ移動手段とを有することを特徴とするソート方式。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は複数の対になっているデータをソートするソート方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のソート方式は、ソートを行なったデータのソートをする前の状態とソートをした

後の状態とを比較して、対になっていたデータを並び替えている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のソート方式では、複数の対になっているデータを一時的に切離して扱っているので、後で再び対にする作業を行なう必要があり、さらに正しく対になっているかの確認をとるための処理に時間を要するという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のソート方式は、複数が対になっているデータの中でソートを行いたい1種類のデータをソートの対象にしてソートするソート手段と、このソート手段が前記1種類のデータについてソートすることに対となるデータも同時に並べ替えるデータ移動手段とを有することにより構成される。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の処理フローを説明するための

図である。第1図(a)は処理されるデータの構造を示していて、データAをソート対象とした場合に、2番目のデータとn番目のデータとを比較して、n番目のデータが大きいときは第1図

(b)に示すようにデータAの位置が入替る。このときデータAに対になっているデータB、データXも同時にデータAと同じに入替える。第1図(c)はソートされた最終的な結果を示しているが、この場合もデータAに対になっているデータB、データXはデータAの動きと同じように移動される。

(発明の効果)

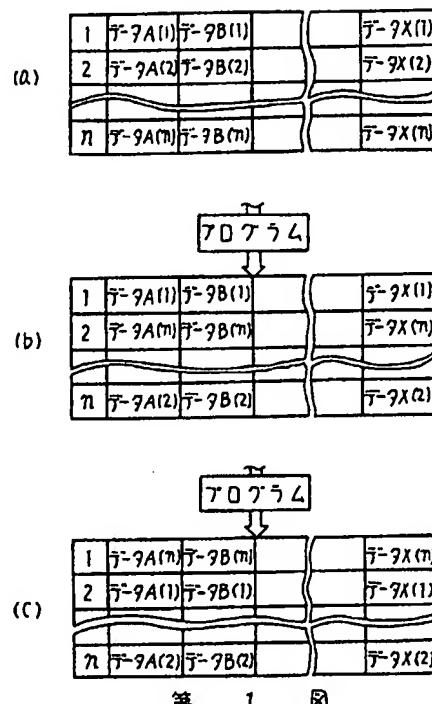
以上説明したように本発明は、対になっている複数のデータを切離さずに扱うことにより、データが対であることの正確さが保証され、処理に対する時間を短縮できる効果がある。

図、第1図(b)は本発明による処理の中間段階におけるデータの構造図、第1図(c)は本発明による処理の最終段階におけるデータの構造図である。

代理人 弁理士 内原晋

図面の簡単な説明

第1図は本発明の処理フローを説明するための図で、第1図(a)は処理されるデータの構造



第 1 図